

Mozart

Sonata for Piano and Violin No.42 in A Major, K.526

モーツァルト

ヴァイオリン・ソナタ第42番イ長調 K.526

Richard Strauss

Sonata for Piano and Violin in E-Dur Major, Op.18

リヒャルト・シュトラウス

ヴァイオリン・ソナタ変ホ長調 作品18

Bartók

Sonata for Violin and Piano No.2 in C Major, Sz.76

バルトーク

ヴァイオリン・ソナタ第2番ハ長調 Sz.76

橋本京子 デュオ オリサイタル 伊藤万桜



Piano
Kyoko Hashimoto

Duo Recital

Violin
Mao Ito



© 井村重人

2024年 **7/15** (月祝) 13:30 開場 14:00 開演 東京オペラシティリサイタルホール (京王新線初台駅直結)

チケット お取扱い 全自由席 | 一般 ¥4,500 学生 (5歳~) ¥2,000 | 当日券 +¥500

3/1(金) 一般発売開始

オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 MIグループ 03-6913-3401 イープラス チケットぴあ Pコード 263709



主催 / 制作 | MIグループ 助成 | 公益社団法人日本演奏連盟 / 山田康子奨励・助成コンサート、一般社団法人MK記念会

協賛 | 一般社団法人川口音楽振興会、中目黒弦楽器 後援 | ケベック州政府在日事務所、公益社団法人日本演奏連盟、公益財団法人榎の芽会、ウォーターガーデンプロダクションズ

伝説的ピアニストであり教師であったジョルジ・シェボックより「非凡な音楽的才能をもち、現代において最も素晴らしい演奏家の一人である」と称賛されたピアニスト。東京生まれ。3歳よりピアノを始める。桐朋学園高校、大学を通じて富本陶教授に師事し、卒業後、スイスのメニューイン国際アカデミー、米国インディアナ大学、ジュリアード音楽院などにおいて研鑽を積む。このうちメニューイン国際アカデミー及びジュリアード音楽院においては、全額学費免除奨学生として在籍。この間、G.シェボック、M.プレスラー、W.マセロス、G.シャンドールにピアノを、G.ヤンツァー、F.ガリミアなどに室内楽を師事する。その後もG.クルターク、F.ラドシュなどに師事する。

1978年以来、スイス、米国、ベルギー、オランダなどに居住し、現在カナダ、モントリオールに在住。演奏活動は常に世界中に渡っており（既に30か国以上に及ぶ）、これまでにロンドン・ウィグモアホール、ニューヨーク・リンカーンセンター及びカーネギーホール、ワシントンD.C.・ケネディセンター、アムステルダム・コンセルトヘボウなどの世界主要都市の名門コンサートホールでの演奏を始め、プラハ春音楽祭、ロッケンハウス室内楽音楽祭、クフモ室内楽音楽祭、PMF音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバルを始めとする各国の主要な音楽祭にも度々招待される。また世界各地の多数のソロリサイタルのほか、プラハ・ドボルジャークホールにおいてのプラハ室内フィルとのベートーヴェンのピアノ協奏曲をはじめ、ベオグラードフィル、ベオグラード放送響、米国、日本、カナダのオーケストラとの共演など多彩なレパートリーにて世界中で活動。これまでにバロック以前から多くの現代曲まで1000曲以上にわたる曲を演奏しており、ルツェロー・リッチ (Vn)、トーマス・ツェートマイヤー (Vn)、アントニオ・メネセス (Vc) とのデュオ活動など数多くの著名な音楽家とデュオや室内楽の共演を行なう。

国際フランス音楽コンクールでの一位大賞および聴衆賞、フランス国際音楽コンクールでの一位なしの二位、シュポア国際コンクールでのピアニスト賞、ブダペスト国際コンクールやシュポア国際コンクールでの最優秀伴奏者賞などを授与される。オランダのラジオ局にてのベートーヴェン20曲連続録音、CDはイギリス、オランダ、ドイツ、チェコ、日本などで20枚以上録音されており、2011年にナミレコードよりドビュッシー前奏曲集第2巻と一緒にリリースされたシューベルト即興曲集 作品142の録音がBBCラジオ (イギリス) にてエドウィン・フィッシャー、ウィリアム・カペル、ウィルヘルム・バックハウス等の伝説的巨匠と列した名演奏として選ばれるなど、国際的にも高い評価を獲得。2014年には、バッハ、ベートーヴェン、ブラームス、ブルーメンフェルト、ハルトークのダンスにまつわる曲でソロCDをナミレコードよりリリース、2018年にはオールモーツァルトソロ8曲が発売され、主要な雑誌などで高評価を得る。



Piano

橋本京子

Kyoko Hashimoto

現在、カナダ、モントリオールの名門マギル大学音楽学部ピアノ本科主任教授。また12年間にわたりオランダのエトレヒト音楽大学ピアノ本科及び室内楽教授、チェコとポーランドのヨーロッパモーツァルトアカデミーやチェコの国際室内楽アカデミーにて客員教授を務め、生徒は世界中で演奏家や教師として活動。また室内楽を教えた生徒の中にはジャーヌ・ヤンセン (Vn)、アレクセイ・オグリンチュク (Ob)、シャルル・リシャル＝アムラン (Pf)、など世界的な芸術家も含まれる。国際コンクールの審査員としては、米国のジーナ・バックアウアー国際ピアノ芸術家コンクール、カナダのモントリオール国際ピアノコンクール、ステッピングストーンコンクール、オランダのヤマハベネルックスコンクール、イタリアのPiana del cavalier国際ピアノコンクール (審査員長)、フィンランドのMaj Lind国際ピアノコンクールなどに招待される。

2004年より毎年開催されている、ドイツ、チェコやポルトガルでの国際音楽ワークショップと音楽祭 (IMWAF) の芸術監督。他に、ロンドンのギルドホール音楽院、王立音楽院やトリニティカレッジにてのマスタークラス、また米国 (オベリン音楽院、マイアミ大学、ネヴァダ大学、デュポール大学、カーネギーメロン大学など)、オランダ、フランス、スイス (ジュネーブ音楽院、ベルン音楽大学など)、チェコ、オーストリア (ウィーン芸大、ザルツブルクモーツァルトテウムなど)、カナダ (ブリティッシュコロンビア大学、ヴィクトリア大学、カルガリー大学など)、ドイツ (ベルリン芸大、ベルリンハンズアイスラー芸大、ケルン、トロッシンゲン、フライブルグ、リュベック、マインツ、アウグスブルク、デュッセルドルフ、ハンブルグなど殆どのドイツの音大)、台湾 (台北芸大、台湾師範大学など)、中国 (北京中央音楽院など)、モンゴル (モンゴル国立音楽院)、ポルトガル、フィンランド (シベリウス音楽院、サヴォリンナアカデミーなど)、日本、韓国、モンテネグロ、ブラジル、マレーシア、タイ (マヒドル大学)、ベルギー (ブリュッセル音楽院)、イスラエル (エルサレム音楽院など) など、主要大学やその他のマスタークラスで常に世界中で教え、後進の指導にも多忙な日々を送る。

www.kyoko-hashimoto.com

PROFILE

ロシア人指揮者でヴァイオリニストのボリス・ベルキン氏より音色を直に称賛され、林昌英氏よりデビューアルバムを「どこまでも真摯で清純、派手さに走らず自然な美しさを追究した演奏、筋の通った俊英の登場」と評されて、進化し続けるヴァイオリニスト。

東京音楽大学卒業、同大学院音楽研究科およびパプロ・カザルス国際音楽アカデミー (フランス)、アントン・ルービンシュタイン国際音楽アカデミー (ドイツ)、イタリア、カナダにて研鑽を積む。ヴァイオリンを大谷康子、海野義雄、神尾真由子、嶋田慶子、漆原朝子、村瀬敬子、山岡耕作、マーク・ゴトーニ 各氏に師事。室内楽を山口裕之、店村真積、横山俊朗、大野かおる、橋本京子 各氏に師事。

ファニー・メンデルスゾーン国際コンクールプロフェッショナルヴァイオリン部門第1位 (ドイツ)、第7回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト第1位、第16回KOBE国際音楽コンクール第2位、第5回蓼科 (現セシリア国際) 音楽コンクール第2位、公益財団法人樫の芽会第10回樫の若木賞を受賞。

プラード・カザルス国際音楽祭 (フランス)、橋本京子氏が芸術監督を務めるキルヒバルク国際音楽祭 (IMWAF in ドイツ) 2度、テアトロオリンピコ国際フェスティバル (イタリア)、大学代表としてモスクワ音楽院交流演奏会 (ロシア) に出演。また、大学より奨学金を受けてバイエルン州立青少年オーケストラに参加しミュンヘンとベルリンでのジョナサン・ノット氏指揮ニュー・イヤーズコンサートに出演。第31回練馬区新人演奏会にて上野正博氏指揮 東京フィルハーモニー交響楽団と共演。

2019年東京文化会館小ホールにて、文化庁/日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクトによるリサイタルが好評を博す。シュロス国際音楽アカデミー (ドイツ) 主催 CLASSIC@HOMEにて2019年リサイタルで演奏のヴィエニャフスキのファウスト幻想曲が動画配信される。2021年より毎年東京オペラシティにて文化庁助成や日本演奏連盟ほかの後援を得てリサイタルを開催している。

NHK「名曲アルバム+」、テレビ朝日、BSフジ、OTTAVA、FM軽井沢他に出演。アールアンフィニレーベルより2021年デビューアルバム「Flessibile」、2022年配信アルバム「夢の色彩」をリリース。2023年より練馬放送パーソナリティ。日本演奏連盟会員。www.maoito.info



Violin

伊藤万桜

Mao Ito

© 井村重人

昨年、紅葉の美しいモントリオールの橋本氏宅に短期留学しドイツの音楽祭からの演奏仲間との初見会やマギル大学の聴講等、欠々にとても充実した自分の向上の為の時間を過ごせました。特に学生時代には縁が薄かったソナタについて深く掘り下げる良い機会を与えられとても感謝しています。一番は何といっても超多忙な推しの橋本先生に合わせて頂き、最初の出会いから10年目にしてモーツァルトとバルトークのソナタを共演出来た事は貴重な私自身へのお土産です。人間的にも音楽的にも尊敬する先生の元へ、機会があれば是非また伺ってご一緒させて頂きたいと願っているこの頃です。(伊藤万桜)